

青森県景気ウォッチャー調査

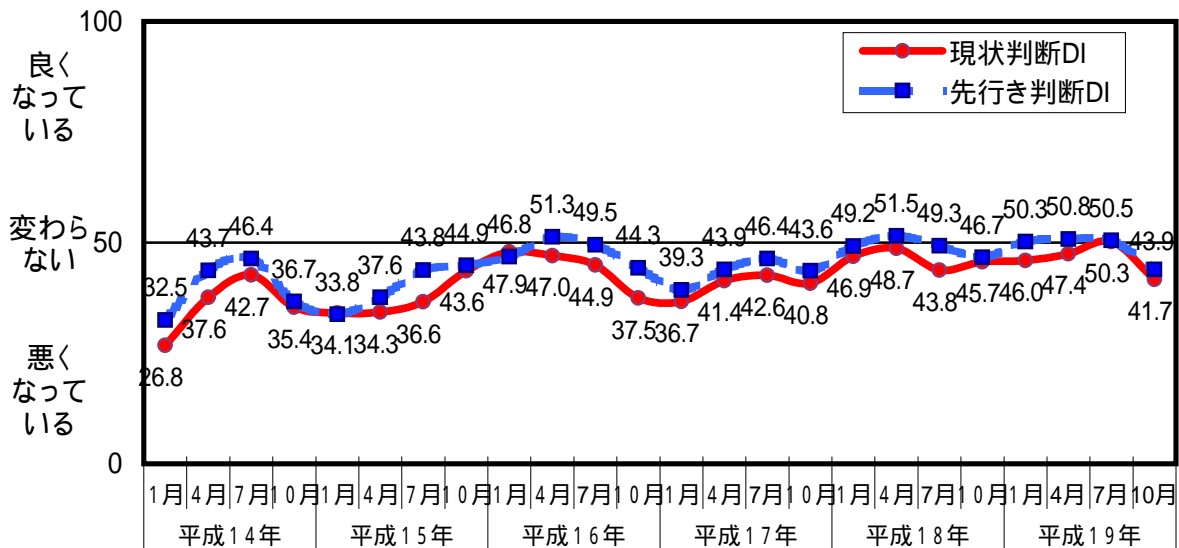
(平成19年10月期)

調査期間 平成19年10月1日～10月17日 回答率99%

概況

10月期は、景気の現状判断DI、先行き判断DI共に前期を下回り、現状判断DIは2期ぶりに、先行き判断DIは4期ぶりに横ばいを示す50を下回った。

景気現状判断DI・先行き判断DIの推移



平成19年11月

青森県企画政策部統計分析課

青森県景気ウォッチャー調査について

1. 調査の目的

統計データには表れないきめ細かな生活実感のある情報を収集し、県内景気動向判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を東青地区、津軽地区、県南地区、下北地区の4地区に分け、各地域における経済活動の動向を敏感に観察できる業種の中からおよそ30業種を選定し、そこに従事する100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計	企業	雇用
東青	青森市とその周辺部	30	23	4	3
津軽	弘前市、黒石市、五所川原市とその周辺部	30	22	6	2
県南	八戸市、十和田市、三沢市とその周辺部	30	21	7	2
下北	むつ市とその周辺部	10	9	1	0
計		100	75	18	7

(2) 調査事項

3か月前と比べた景気の現状判断とその理由

3か月後の景気の先行き判断とその理由

(参考) 景気の水準判断

(3) 調査期日等

四半期に一度(1月、4月、7月、10月)実施し、翌月初旬に公表。

3. DIの算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DIを算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

(本調査についてのお問い合わせ先)

〒030-8570 青森県企画政策部統計分析課 統計情報分析グループ
 TEL 017-734-9165(直通)又は017-722-1111(内線2189)
 FAX 017-734-8038

1. 結果概要

(1) 3か月前と比べた景気の現状判断DI

<p>県全体の動向</p> <p>前期調査と比べると、「やや良くなっている」が11.1ポイント減少し、「やや悪くなっている」が9.1ポイント、「悪くなっている」が7.1ポイント増加したことにより、全体では8.6ポイント減の41.7となり、2期ぶりに横ばいを示す50を下回った。</p> <p>判断理由をみると、旅行客の増加や一部業種において仕事量が多いという声がみられる一方、郊外店の進出による競争激化や原材料費の価格上昇、各種商品の値上げによる消費者の買い控えをあげる声が多かった。</p>
<p>分野別の動向</p> <p>前期調査と比べて、家計関連で10.5ポイント減、企業関連で1.4ポイント減、雇用関連で7.1ポイント減と、全ての分野においてポイントが減少した。</p>
<p>地区別の動向</p> <p>前期調査に比べて、全ての地域においてポイントが減少し、東青地区、津軽地区、下北地区において横ばいを示す50を下回った。</p>

(2) 3か月後の景気の先行き判断DI

<p>県全体の動向</p> <p>前期調査と比べると、「やや良くなる」が7.0ポイント減少し、やや悪くなるが5.0ポイント、「悪くなる」が6.1ポイント増加したことにより、全体では前期を6.6ポイント下回る43.9ポイントとなり、4期ぶりに横ばいを示す50を下回った。</p> <p>判断理由を見ると、農産物の出来に期待する声がある一方、原油や原材料価格の上昇によるコストアップやそれに伴う各種商品の値上げが家計に及ぼす影響を懸念する声が多くみられた。</p>
<p>分野別の動向</p> <p>前期調査に比べて、企業関連で1.4ポイント増加したが、家計関連で8.8ポイント、雇用関連で3.6ポイント減少した。</p>
<p>地区別の動向</p> <p>前期調査に比べて、全地域においてポイントが減少し、全ての地域で横ばいを示す50を下回った。</p>

2. 県全体の動向

(1) 3か月前と比べた景気の現状判断

DI

n=99

	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月
合 計	45.7	46.0	47.4	50.3	41.7
家計関連	44.2	45.3	45.5	50.0	39.5
小売	47.5	49.2	43.3	45.8	38.8
飲食	37.5	41.7	43.2	50.0	29.2
サービス	42.3	43.3	47.1	54.8	46.3
住宅	50.0	41.7	54.2	50.0	33.3
企業関連	54.2	50.0	52.8	51.4	50.0
雇用関連	39.3	42.9	53.6	50.0	42.9

回答別構成比(%)

	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月
良くなっている	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0
やや良くなっている	14.3	13.1	15.3	24.2	13.1
変わらない	61.2	60.6	62.2	54.5	49.5
やや悪くなっている	17.3	23.2	15.3	19.2	28.3
悪くなっている	7.1	3.0	6.1	2.0	9.1

(2) 3か月後の景気の先行き判断

DI

n=99

	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月
合 計	46.7	50.3	50.8	50.5	43.9
家計関連	47.3	50.7	49.0	51.0	42.2
小売	50.0	51.7	45.0	48.3	41.4
飲食	39.6	45.8	45.5	52.1	31.3
サービス	48.1	51.0	54.8	54.8	48.1
住宅	45.0	54.2	50.0	45.8	41.7
企業関連	47.2	52.8	56.9	47.2	48.6
雇用関連	39.3	39.3	53.6	53.6	50.0

回答別構成比(%)

	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月
良くなる	1.0	0.0	0.0	1.0	0.0
やや良くなる	17.3	17.2	21.4	22.2	15.2
変わらない	56.1	68.7	62.2	57.6	54.5
やや悪くなる	18.4	12.1	14.3	16.2	21.2
悪くなる	7.1	2.0	2.0	3.0	9.1

3. 地区別の動向

(1) 3か月前と比べた景気の現状判断

< 東青地区 >

DI

n=30

	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月
合 計	41.4	44.0	46.7	49.2	41.7
家計関連	42.0	45.5	46.7	47.8	40.2
小売	47.2	50.0	44.4	44.4	38.9
飲食	41.7	50.0	58.3	50.0	33.3
サービス	36.1	37.5	44.4	52.8	44.4
住宅	50.0	50.0	50.0	37.5	37.5
企業関連	43.8	43.8	50.0	50.0	56.3
雇用関連	33.3	33.3	41.7	58.3	33.3

回答別構成比(%)

	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	10.3	10.3	10.0	20.0	10.0
変わらない	55.2	62.1	70.0	56.7	56.7
やや悪くなっている	24.1	20.7	16.7	23.3	23.3
悪くなっている	10.3	6.9	3.3	0.0	10.0

< 津軽地区 >

DI

n=30

	平成18年 10月	平成18年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月
合 計	47.5	45.0	40.0	46.7	34.2
家計関連	47.7	44.3	36.4	47.7	31.8
小売	52.8	50.0	27.8	41.7	27.8
飲食	50.0	41.7	33.3	41.7	25.0
サービス	40.6	40.6	46.9	56.3	40.6
住宅	50.0	37.5	37.5	50.0	25.0
企業関連	50.0	45.8	45.8	50.0	37.5
雇用関連	37.5	50.0	62.5	25.0	50.0

回答別構成比(%)

	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	10.0	10.0	6.7	16.7	0.0
変わらない	73.3	63.3	60.0	60.0	53.3
やや悪くなっている	13.3	23.3	20.0	16.7	30.0
悪くなっている	3.3	3.3	13.3	6.7	16.7

< 県南地区 >

D I

n=29

	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月
合 計	49.1	47.5	57.1	53.4	50.0
家計関連	45.0	45.2	55.3	53.8	47.5
小売	52.8	47.2	58.3	52.8	50.0
飲食	16.7	33.3	37.5	50.0	41.7
サービス	45.8	50.0	50.0	54.2	50.0
住宅	50.0	37.5	75.0	62.5	37.5
企業関連	60.7	53.6	60.7	50.0	57.1
雇用関連	50.0	50.0	62.5	62.5	50.0

回答別構成比 (%)

	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月
良くなっている	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0
やや良くなっている	20.7	20.0	35.7	34.5	31.0
変わらない	62.1	50.0	50.0	44.8	37.9
やや悪くなっている	10.3	30.0	7.1	20.7	31.0
悪くなっている	6.9	0.0	3.6	0.0	0.0

< 下北地区 > (参考)

D I

n=10

	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月
合 計	42.5	50.0	45.0	55.0	40.0
家計関連	38.9	47.2	44.4	52.8	38.9
小売	16.7	50.0	41.7	41.7	41.7
飲食	41.7	41.7	41.7	58.3	16.7
サービス	58.3	50.0	50.0	58.3	58.3
住宅	-	-	-	-	-
企業関連	75.0	75.0	50.0	75.0	50.0
雇用関連	-	-	-	-	-

回答別構成比 (%)

	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	20.0	10.0	0.0	30.0	10.0
変わらない	40.0	80.0	80.0	60.0	50.0
やや悪くなっている	30.0	10.0	20.0	10.0	30.0
悪くなっている	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0

(2) 3か月後の景気の先行き判断

< 東青地区 >

DI

n=30

	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月
合 計	40.5	44.8	49.2	49.2	42.5
家計関連	40.9	45.5	47.8	48.9	41.3
小売	47.2	52.8	44.4	50.0	47.2
飲食	41.7	41.7	50.0	50.0	33.3
サービス	33.3	37.5	52.8	47.2	36.1
住宅	50.0	50.0	37.5	50.0	50.0
企業関連	43.8	56.3	56.3	56.3	50.0
雇用関連	33.3	25.0	50.0	41.7	41.7

回答別構成比(%)

	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月
良くなる	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0
やや良くなる	10.3	13.8	26.7	16.7	13.3
変わらない	51.7	58.6	46.7	56.7	56.7
やや悪くなる	27.6	20.7	23.3	20.0	16.7
悪くなる	10.3	6.9	3.3	3.3	13.3

< 津軽地区 >

DI

n=30

	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月
合 計	45.0	53.3	49.2	50.8	42.5
家計関連	45.5	53.4	45.5	51.1	39.8
小売	44.4	52.8	41.7	50.0	36.1
飲食	41.7	50.0	41.7	58.3	25.0
サービス	50.0	56.3	50.0	53.1	50.0
住宅	37.5	50.0	50.0	37.5	37.5
企業関連	45.8	54.2	62.5	45.8	45.8
雇用関連	37.5	50.0	50.0	62.5	62.5

回答別構成比(%)

	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	16.7	16.7	13.3	20.0	16.7
変わらない	53.3	80.0	73.3	66.7	46.7
やや悪くなる	23.3	3.3	10.0	10.0	26.7
悪くなる	6.7	0.0	3.3	3.3	10.0

< 県南地区 >

D I

n=29

	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月
合 計	52.6	50.8	52.7	50.9	48.3
家計関連	53.8	51.2	52.6	52.5	46.3
小売	61.1	50.0	47.2	47.2	40.6
飲食	25.0	41.7	37.5	50.0	41.7
サービス	58.3	53.6	62.5	62.5	57.1
住宅	50.0	62.5	62.5	50.0	37.5
企業関連	50.0	50.0	50.0	42.9	53.6
雇用関連	50.0	50.0	62.5	62.5	50.0

回答別構成比 (%)

	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月
良くなる	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	24.1	20.0	25.0	31.0	17.2
変わらない	58.6	63.3	60.7	44.8	62.1
やや悪くなる	6.9	16.7	14.3	20.7	17.2
悪くなる	6.9	0.0	0.0	3.4	3.4

< 下北地区 > (参考)

D I

n=10

	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月
合 計	52.5	55.0	55.0	52.5	40.0
家計関連	52.8	55.6	52.8	52.8	41.7
小売	41.7	50.0	50.0	41.7	41.7
飲食	50.0	50.0	50.0	50.0	25.0
サービス	66.7	66.7	58.3	66.7	58.3
住宅	-	-	-	-	-
企業関連	50.0	50.0	75.0	50.0	25.0
雇用関連	-	-	-	-	-

回答別構成比 (%)

	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	20.0	20.0	20.0	20.0	10.0
変わらない	70.0	80.0	80.0	70.0	50.0
やや悪くなる	10.0	0.0	0.0	10.0	30.0
悪くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0

4 . 判断理由

(1) 景気の現状判断理由

現状	分野	地区	業種	理由
やや良くなっている	家計	東青	観光名所等	レンタカー・タクシー等利用のお客が増え、客単価も上がった。団体バスのお客は伸び悩んでいるのが現状だが、それ以上に個人のお客が伸びている。
			県南	家電量販店
		スーパー	消費意欲が高くなっていると考えます。	
		観光型ホテル・旅館	入客数増加と消費単価（特に土産物品）が増加。	
		商店街	今月は青森県主催でスポーツ・レクリエーション祭が開催され、八戸市にも沢山の集客があったようだ。	
		観光名所等	天候に恵まれたので、農産物の出来が良いです。（量も質も。）また、店に来る客数も、増えています。	
		下北	タクシー	ハイタク業だけの狭い範囲のことですが、今年はかなり旅行者が多くその売上げが伸びています。
	企業	東青	建設	引合の増加・建設資材の騰勢 - といった現象に照らしても少々良化というべきであろう。しかし、業態とか分野によるバラツキもあり、全般的とはいえずもない。
			県南	経営コンサルタント
		電気機械製造	仕事量が多くてやり切れないほど。ただし、コスト面では材料価格の高値で厳しい状況。とりあえず、仕事があるので何とかなるでしょう。	
	雇用	県南	新聞社求人広告	新築の建物が若干増えた。
変わらない	家計	東青	コンビニ	今後市内での大きなイベントがない為。
			百貨店	新しい商業集積地における集客はあるようで、その影響が当店においても出ているものの、景気総体としてはほぼ変化が無いもようと思われる。
			一般飲食店	努力しても変わらない。
			競輪場	売り上げ、入場者が横バイ状態。
			家電量販店	売上の前年割れが続いている。
			設計事務所	実感。
			都市型ホテル	売上は落ち込んではいないものの、景気上昇につながる好材料が見つからない。
			スナック	悪いという事で変わらないです。日々、私なりに店営業の為頑張っているのですが、全体的に不景気なのでしょうか。中々むずかしい。同業者のお話をうかがってますが、真剣に悩んでおります。共倒れです！！

現状	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	東青	美容院	オシャレに対する価値観が少なく、実用的な思想が高くなっているように感じる。
			旅行代理店	当社の国内・海外ともに昨年より収入が伸びている。
			観光型ホテル・旅館	8・9月と夏祭りや地区及び全国大会開催等があり業績アップしたが、観光シーズンの10月だが予約状況が良くない。(紅葉のトップと思われる10月後半に予約が集中している)
		津軽	パチンコ	消費自体は拡大しているのかもしれませんが、大型量販店等の出店などで分散傾向にあり、余り実感できないような気がします。
			タクシー	特に変化は見られない。
			観光型ホテル・旅館	周辺に景気回復のきざしが見えない。
			観光名所等	政府の経済対策や地方振興策があげられるが、一方では物価の上昇が考えられる。
			スーパー	過去3ヶ月間を見ても、客数、客単価が前年比の95%ぐらいとダウンしています。
			衣料専門店	相変わらず郊外大型店に消費者集中し、商店街の来店少ない。
			家電量販店	エアコン等一部の商品は良かったが、来客数、売上げ等の伸びは良くない。
			住宅建設販売	地域経済の現況は短期間で変動する様な状況ではない。
			旅行代理店	夏のイベント等で人、物、金の動きはあるがそれは一部の地域・業種への事であり、全体的な視野でみると変わっていないのではないかと。
			都市型ホテル	レストラン部門は好調を維持しているが、宴会は単価が上がらない。
		県南	レストラン	お客様のご利用について単価的にあまり変化が見られない。
			衣料専門店	優待会がある時はいくらか良いのですが、平日の店内はガラガラ。販売員の姿ばかり目立ちます。
			ガソリンスタンド	歓楽街に客数が減っている感じがする。
			一般飲食店	現状を見ると、客数・売上げ等、良くて横バイ悪いとマイナスの状況です。
			設計事務所	十和田市は基幹産業は建設業ですが、その建設業が公共事業の削減により、十和田全体に影響している感じです。
			旅行代理店	決して良くなっているということはない、というのが当地多くの人々の意見だ。都市と地方の間のいろいろな格差が解消あるいは縮小されない限り、地方の景気は難しいのではないかと。
			タクシー	3ヶ月前には景気がもう少し速く動くと思っていた。
		下北	スーパー	ここ数ヶ月前年比較で同じ数値で推移しております。
			ガソリンスタンド	一向に景気のいい話しは聞かれず、むしろ悪い話しばかりである。

現状	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	下北	コンビニ	どん底の底をついたのかなと思う。
		企業	東青	食料品製造
	広告・デザイン			大型の事業が一時的な上向き材料になったりしたものの、根本的な市場回復がない。
	経営コンサルタント			猛暑から家電に明るさが見られたものの、住宅を始めとする建設に明るさが見られず、全体では弱含み横ばいと見る。
	津軽		飲料品製造	ここ3ヶ月で内閣が何度も編成され、まとまった政策等が目に見えてこないため。
			広告・デザイン	見積依頼件数及び受注額に変動なし。
			食料品製造	いつになったら良くなるのか見当がつかない。
	県南		建設	公共投資は依然として下降傾向。但し、新政権が格差問題に対し、どのような政策を打つか大いに関心を持っている。又、民間分野では新幹線開業をにらんだホテル、そして一大ショッピングゾーン開発の話がチラホラ出てきている。
			紙・パルプ製造	製品荷動きは比較的堅調だが、輸入諸資材、燃料等の価格上昇によるコストアップが企業収益を圧迫している。
			飲料品製造	販売先が今まで以上に受注発注の形をとっており、商品の動きがにぶい。
	下北	食料品製造	業種によって両極なのは。プールすると変わらない、若しくはガソリンの値上げ、それに付随する物の値上げで悪いと思う。	
	雇用	東青	新聞社求人広告	求人広告をみても運転手・サービス業・期間工が中心で、件数にも伸びがみられない。
			人材派遣	現状維持の状況である。退職した派遣社員の補充程度で推移している。新規派遣要請は全くなかった。
		津軽	人材派遣	3ヶ月前と比較し、求人数が一進一退している。また、相変わらず正規雇用は少なく、非正規雇用の割合が多い。
			新聞社求人広告	最低ラインだった3ヶ月前と同様で推移。
やや悪くなっている	家計	東青	スーパー	各種値上げ報道(小麦粉)により、消費者の買い控えが見受けられる。
			衣料専門店	来店数の落ち込みが止まらない。新町ではこの1ヶ月の間に閉店した店が5店ある。今後郊外店が続々オープンしますので、これ以上に状況悪化になると思われる。
			卸売業	人口が減少している中で売場面積が増えている(競争激化)。商品の値上げ。
			住宅建設販売	住宅着工棟数減少傾向。注文の減少。灯油高騰による材料費負担増。
			ガソリンスタンド	自営業者の方で、仕事がなく、自家用車を売り払う人がいた。
			商店街	県庁職員の昼休み時間短縮による影響で、飲食店を中心に売上げ減少にも波及している。

現状	分野	地区	業種	理由	
やや悪くなっている	家計	東青	乗用車販売	販売が思うように伸びない。また、お金を持っていると思いきや先行き不安な為出ししづりをしている。	
			津軽	百貨店	例年に比べ9月に入っても気温が高く、そのために秋物商品の売れ行きが悪かった。
				美容院	農繁期で客足が悪い。
				一般飲食店	大きなイベントがあっても、あまりお客様を呼べなくなっている。
				商店街	中央の好景気が地方まで反映されていない。
				一般小売店	ポイントの添付率を下げたことにより、売上げが低下している。昨年は9月の売上げが特に良かったので、前年比がすごく悪い。
		県南	美容院	来店回数がかかなり遠くなって来ている。我慢出来なくなってきたから来る方が増えている。	
			パチンコ	夜に街に出ている中高年層が更に少なくなっている。	
			一般小売店	原油価格の高騰による今年の冬に対する不安感。小麦価格の高騰による諸物価の上昇に対する不安感。	
			コンビニ	タバコ・ガソリン・カップラーメン等のさまざまな業種での値上がりが多発。消費者収入は変化ない。これでは景気回復は見込めない。	
			卸売業	猛暑であり、良かった所もあるようだが、全体的には良くなかった。格差問題は地方にとって大問題であり、対応策が必要である。まったく実感できない状況である。	
			住宅建設販売	冬場に向かったの買い控え。	
			スナック	街の人通りが少なくなった。	
		下北	レストラン	繁華街が死んでいます。	
			一般小売店	今までも購買意欲が下がり気味であったのが、市税の税率が上がった頃から買い物が慎重になっている様な感じ。所得税が少し減っても気分的には財布のひもを締めなくなるのでは？	
			スナック	建設業の不振。	
		企業	津軽	電気機械製造	全体的に受注が減少しているから。
				経営コンサルタント	前年の決算に比較して売上が減少している企業が多い。
県南	食料品製造		原料・素材の高騰		
悪くなっている	家計	東青	レストラン	団体客が少ない。	
			タクシー	稲作、津軽圏のみ100。南部台風水害。県人口減少。若年層の県外流出。雇用の場が非常に少ない。1人当たり年収減少止まらず。市町村かぎりなく赤傾向。新幹線工事終了間近。公共事業も少ない。いい話題が少なすぎる。	

現状	分野	地区	業種	理由
悪くなっている	家計	津軽	スナック	先々週も先週もほとんどお客様は店に来ないです。悩みます。赤字です。
			ガソリンスタンド	規制緩和政策による弊害（中央大資本と地方弱小資本の競争にもならない競争）が出て来ている。
			卸売業	日々の仕事の状況を見て、倒産状況など。
			設計事務所	商社・建機販売店等多種の職業の方が出入りしますが、建築関連の落ち込みの話しか話題にならない。
		下北	一般飲食店	一年中通じて、今年が一番悪いと思います。考えながらいくら頑張っても下り坂です。よくなる見通しが何も無いからです。
	雇用	東青	求人情報誌	経営者間の話で、運転資金借入れしても返済のめどがたらず、今はただガマンしている様子。県内の金が中央に流れているとボヤク人が多い。

(2) 景気の先行き判断理由

先行き	分野	地区	業種	理由
やや良くなっている	家計	東青	スーパー	昨年の暖冬と比較して天候与件（例年の降雪）で景気が回復してほしいという期待を持っている。
			スナック	良くなってほしいの一言です。12月までにはいろいろな会合が青森で有ると思いますので、期待しております。
			旅行代理店	当社の海外旅行が順調に売れている。
		津軽	都市型ホテル	忘年会の予約申し込みが例年に比較して早い。この好況が年明けも継続することを期待する。
			美容院	今年は豊作の様なので。
			観光型ホテル・旅館	お正月に期待をかけて・・・。
		県南	家電量販店	年末年始。
			美容院	新政権が安定感と、今迄の格差是正が影響しそう。厚生労働大臣と総務大臣の動きが好影響してくれることを待っています。
			観光型ホテル・旅館	予約数が前年より増加している。
	下北	都市型ホテル	近辺に商業施設建設の予定あり。少しでも景気が良くなるという期待が・・・。	
企業			津軽	飲料品製造
雇用	東青	経営コンサルタント	日本経済全体が良くなっているから、地方にも余波があるのでないか。期待感から。	
		人材派遣	最近就航した高速フェリーの力強い勇姿に感動を覚え、新幹線の急ピッチな工事振りに期待度は増している。着実に景気は向上すると思われる。	
	津軽	人材派遣	当地は、第一次産業の割合高い。中でもリンゴ生産農家の比率が高いが、今年のリンドの価格は例年よりも高い模様なので、地域経済には若干ではあるが、プラスの影響が生じるのではないかと。	
変わらない	家計	東青	観光名所等	観光もオフシーズンとなり、客数は減るが、お歳暮時期の売上に期待。
			コンビニ	東京とは違い景気のいい話は全く聞こえてきません。駅前の空きビルの多さと大野地区の開発とにぎわいの格差がとても感じられます。
			百貨店	一部の業種において変動は予測されるが、景気全体を底上げする投資、消費及び消費を刺激するモチベーションの高まりは予測しがたいと思います。
			競輪場	変動要素が見当たらない。
			住宅建設販売	核家族化、少子高齢化による住宅需要の減少、横バイ。
			乗用車販売	先行き不透明で不安があるのでは。

先行き	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	東青	衣料専門店	自店だけの努力では最早限界だ。地方と中央の格差の問題は解決どころか益々広がる様子だ。
			家電量販店	青森県の人口が毎年14千人づつ減っている中で県外企業の進出があり、来店客が減るのは目に見えている。
			設計事務所	変化する要因が見当たらない。
			美容院	「給与が下がっている」「給与が変わらない」などの声が多く聞かれるようになっている。
		津軽	百貨店	ここ数か月の消費動向を見る限りにおいて、今後その意識が上向きになる要素が見当たらない。
			パチンコ	同業の競争激化に対応し、薄利での営業が続いていくであろう。地方ではベースアップ等も難しいと思われ、今後の見通しも暗いと思われる。
			タクシー	現状のままで変わらないと思う。景気が上向き要因が見当たらない。
			衣料専門店	農家の収入見込まれるものの、給料のアップ殆ど見られないから。
			家電量販店	各月ごとにイベントは実施していくが、景気が上向き要素が見当たらない。
			商店街	期待感が持てないし、そのような材料もない。
			住宅建設販売	地域経済の現況は短期間で変動する様な状況ではない。
		県南	レストラン	特に景気回復につながる様な動きが感じられない為。
			衣料専門店	3か月先の景気では変化をのぞめないが、民間主導による中心市街地の再生が進展するようですので、先々ではいくらか景気回復できるだろうと思います。
			タクシー	諸物価の値上がり、政治の不安定がこれからどう影響してくるのか先が読めない。観光等も期待できない。
			パチンコ	上向きになるとは思っているが、あと6ヶ月程後になると思う。
			観光名所等	現状維持だと思います。彼岸が過ぎると額数も減ってくるのですが、今年は平日も賑わっています。
			設計事務所	大幅に公共事業が増える要素が無い。
			スーパー	商品の価格が上がる可能性が高い(まちがいなく)。
			旅行代理店	これから冬場に向かうが、原油高が落ち着く気配もない。諸物価も少しずつ値上がりして来ている。新政権の先行きも未知数。地方浮揚の好材料なし。
			一般飲食店	上向きの要因が地方まで波及せず、ずるずるとヒマの日数が増える傾向にあるようだ。それに加えて中心街の活性の低下が目にあまる。
商店街	クリスマスや初売りなどイベントが沢山あるので集客が見込めるとしています。			

先行き	分野	地区	業種	理由		
変わらない	家計	下北	タクシー	これから冬期間に入ればむつ地区は旅行客は望めなく、また灯油等の燃料費の高騰が予想される中多少の景気はその分差し引かれると思われま		
			スーパー	大きく変動する要因は特になく、現状の数値状況で推移すると思われま		
			レストラン	努力して頑張っている。毎日良くなる事を願ってはいるもののちっとも変わらない。		
			ガソリンスタンド	原油の高騰により石油製品の値上がりにより、燃料費が圧迫すると思われ		
	企業	東青	食料品製造	今後業績の悪い企業はM&A（企業の合併・買収）等、解体されていくのではないかと。あらゆる業界で再編成が進行して行くと思		
			建設	引合の増加・建設資材の騰勢といった現象に照らしても少々良化となるであろうが、業態とか分野によるバラツキがある事情に加え冬場を迎えるといった要素もあり、大雑把に言えば不変と見込まれる。		
			広告・デザイン	構造的見直しを図らないと現状のブレークスルーにつながらない。		
			経営コンサルタント	回復基調といわれるが、中小企業に先行き明るさは見られない。		
		津軽	経営コンサルタント	景気が上向く理由が見つからない。		
			食料品製造	景気の良くなる要素が見あたらない。		
			広告・デザイン	特に良くなる要素なし。これ以上悪くならなければよいが。		
		県南	電気機械製造	難しいことではあるが、各方面が努力して、効率アップの取り組みと、適切なコスト転嫁が進んでいき、景気が維持されると考えま		
			飲料品製造	良くなる要素が見あたらない。又、何とかしようという意欲も少ない気がする。		
			食料品製造	企業内努力（経費削減）や家庭での生活防衛の色合いが今後とも継続するため。		
		雇用	東青	新聞社求人広告	現状で域外店の進出等があるが、地元企業に活気が感じられない。	
			津軽	新聞社求人広告	地域経済の景況が現状”底”にあるのか、今後も悪化が続くのかの判断が難しい状況。	
			県南	新聞社求人広告	政治の動向次第ではないか。	
		やや悪くなっている	家計	東青	一般飲食店	皆さんの経済力が下がっているから。
					商店街	青森市の市営バスの無料バス（70才以上の高齢者向け）が廃止され、外出の抑制の影響で、売上げ減少につながる懸念がある。
都市型ホテル	原油価格の高騰などにより食品関連の仕入原価が上昇しており、収益を圧迫してきている。					
ガソリンスタンド	暖房用燃料の高騰が予想され、家計は苦しくなる。					

先行き	分野	地区	業種	理由	
やや悪くなっている	家計	東青	卸売業	人口が減少している中で売場面積が増えている（競争激化）。商品の値上げ。	
			津軽	一般小売店	公務員の給与が下がっているのか、客単価が下がっている。
				一般飲食店	収穫期に入るので外食する回数が減ってくる。
				設計事務所	住宅等の着工落ち込みが弘前地方が特にはげしく、体力的にどの企業も限界にきていると思います。
				卸売業	当社は公共事業の比率が多く、今後も回復する見込みが厳しい為。
				旅行代理店	商店街等の不況で格差が益々広がると思います。
		県南	一般小売店	原油価格の高騰による今年の冬に対する不安感。小麦価格の高騰による諸物価の上昇に対する不安感。	
			住宅建設販売	冬場に向かったの買い控え。	
			スナック	暑いけれど衣類程に飲食に来ていない。	
			卸売業	原材料が高騰しており、メーカーの値上げが発表されており、業種を問わずこの傾向になると思われる。所得が伸びずさらに消費が停滞すると思う。	
		下北	一般小売店	これから冬に向かい、灯油を使うようになれば、普段の買い物に回すお金はますます減ると思われます。	
			スナック	上向きになる要素見当たらず。	
		企業	津軽	電気機械製造	原材料は高値のまま推移し、紙の値上がりにより梱包材も値上がりし、収益に悪影響を及ぼす要因が多いため。
			県南	紙・パルプ製造	原燃料価格の上昇は続くものと思われ、その影響が今後様々な最終製品の値上げという形で表れてくる可能性がある。
下北	食料品製造		業種によって両極なのは。フルすると変わらない、若しくはガソリンの値上げ、それに付随する物の値上げで悪いと思う。		
悪くなっている	家計	東青	レストラン	今の時点で昨年と比べるとあまりよくない。まわりの同業、他の業者にしてもよくないと言っている。	
			観光型ホテル・旅館	昨年同様忘・新年会の予約に期待できない。この秋からの原油高騰により生活関連商品が値上がりしており、レジャー等（宴会や旅行）を控えると思われる為。	
			タクシー	年収減、賞与減。燃料費（ガソリン、灯油）高沸。冬期に向け値上がりすると食費その他詰めるため消費も進まず”金”がまわらぬ。	
		津軽	ガソリンスタンド	石油製品の高騰による関連商品の値上げ。冬期に向けて生活に影響してくる。	
			スナック	予約は入らないし、今までこんなにお客様が来ない事はなかったです。	
		県南	コンビニ	今後もタクシーの値上げ・増税、年金問題など早期に解決しなければならぬ問題が多すぎるのでは？	

先行き	分野	地区	業種	理由
悪くなっている	家計	下北	一般飲食店	お客様方からここのお店みたいに忙しそうなお店がない、どこに行っても客が入っていない、又、人通りが全くないと言っています。むつ市だけでしょうか？
	雇用	東青	求人情報誌	これから冬へ向かい、ガソリンの値上げなど悪い要素が多。新幹線効果もさしてあるのか？と思う。地元企業への支援が大事と思う。

5 . 参考

(参考 1) 景気の現状判断

D I

n = 99

	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月
合 計	32.9	31.1	33.7	35.4	32.8
家計関連	32.9	30.7	32.5	35.5	32.1
小売	39.2	34.2	31.7	33.3	32.8
飲食	27.1	29.2	31.8	43.8	25.0
サービス	26.9	27.9	35.6	35.6	36.1
住宅	40.0	29.2	25.0	29.2	25.0
企業関連	34.7	33.3	43.1	34.7	36.1
雇用関連	28.6	28.6	21.4	35.7	32.1

回答別構成比 (%)

	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月
良い	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良い	3.1	7.1	6.1	11.1	9.1
どちらとも言えない	42.9	33.3	42.9	37.4	31.3
やや悪い	32.7	36.4	30.6	33.3	41.4
悪い	20.4	23.2	20.4	18.2	18.2

地区別 D I

	平成18年 10月	平成19年 1月	平成19年 4月	平成19年 7月	平成19年 10月
合 計	32.9	31.1	33.7	35.4	32.8
東青	27.6	25.0	32.5	30.0	34.2
津軽	35.8	35.0	31.7	35.0	25.8
県南	37.1	33.3	35.7	37.9	40.5
下北	27.5	30.0	37.5	45.0	27.5

(参考2) その他自由意見

分野	地区	業種	自由意見
家計	東青	レストラン	例えば、朝、市場（魚屋、八百屋など）に行っても、仕入れに来ている人はかなり少なくなってきたし、業者も商品（魚、野菜など）をあましている状態。いいのかな？このままで？・・・と思う。
		美容院	夢を持っている若い人たちはいるが、現実的にあきらめている人が多いなと感じる。
		旅行代理店	市内に大型ショッピングセンターが新規オープンした為、新町通りの店が移転し、シャッター通りが一段と目につく。
		衣料専門店	中心商店街の衰退に歯止めがかからないのは問題だ。青森県と青森市の対応を強く望みます。
		家電量販店	商品構成上、降雪量に左右される。今年は一昨年のような雪に期待したい。
		コンビニ	市民の今後の生活にはマイナスばかりが感じられる政策が多く、明るい政策を打ち出してくれないと商売をやっている意欲もわからないので、いい人材が都会へ逃げていっているような気がする。
		住宅建設販売	国の金利の引き上げが実施されず、さらに住宅ローン低金利時代は続きそう。
		スナック	県の方達も考えてほしい。二次会も大事な会合だと私達の仕事は思っています。協力・努力してほしいですね。
		タクシー	格差はますます拡大するのでは。知事、交付税の配分の訴えは青森県民代表する声と聞きました。県民のためにこれからも元気で頑張ってください。
		観光名所等	海外からのお客様が増えた。3～4年前と比べて、買い物をしてくださる海外のお客様も増えた。
		設計事務所	メーカーのセールスの人々からも明るい話題ナシです。
		乗用車販売	いくらかでも早い景気回復を願ってます。
津軽	津軽	商店街	地域格差の解消施策を実施して欲しい。
		都市型ホテル	大型シティタイプのホテルの所有・運営が代わった。大改装の計画が流れ、その間の宴会の動きに微妙な変化が見られる。
		一般飲食店	台湾、韓国からの団体旅行が多くなってきている。
		設計事務所	今年6月20日の建築基準法の改正により確認申請等の仕方が大きく変わり、この方法だと経済活動に多大な負担が掛かります。
		旅行代理店	今後3ヶ月間の農業関連の収穫、収入を注目したい。
		ガソリンスタンド	弘前の話したが、中心と言われる土手町が坪30万円でも売れなくて、郊外ショッピングセンター付近の評価も30万円近いとの事。不思議な現象です。
		住宅建設販売	確認申請の許可が手続き上時間が相当必要になった為に、着工が遅れて工期が相当遅れている。
		レストラン	ショッピングモールが出来たり、屋台村を作ろう等色々考えているが何か地元とかけはなれている気がする。

分野	地区	業種	自由意見
家計	津軽	百貨店	さまざまな場面での購買状況において、商品アイテム、単価に関わらず衝動買いが少ない。ほぼ目的買いに留まっている状態が多く見受けられる。
		美容院	ガソリンが高すぎる。バイオガソリン等の需要で穀物の需給バランスが崩れたとき、自給率の低い日本は？
		観光型ホテル・旅館	9月は台風の影響でキャンセル等があり良くなかったのですが、10月は大学生等のスポーツ大会があり少しは良くなっていますが、特に持続するとは思えませんので景気に関係ありません。
		一般小売店	「地方の格差」が連日マスコミで話題となっているので、地方の人々のマインドが余計に沈んでいるような気がする。
	県南	タクシー	毎日回りを観て何かいい発展性のある物等を探しているけれども、人口が減っているのでは将来どうなるのだろう！
		卸売業	年金問題、格差問題等、政治的に解決しなければならない問題が多く早急に対応をとっていただきたい。
		スナック	新しいお店もできているがシャッターの降りている店が多い。
		一般飲食店	色々な対策が有ると思いますが、行動が遅い様だ。行動が不景気のスピードについていけない。
		美容院	消費者の多様化により、街中より郊外ショッピング街や本当に必要な物以外は買わない。用事があるその時迄待つ感じです。
		乗用車販売	公務員や中央資本の社員は、車の買い替えのサイクルが以前と変わらないが、地元資本の企業に勤めているお客様や農漁業に従事しているお客様の買い替えサイクルは14～15年に長期化している。
		一般小売店	ここ数年で以前より生活福祉で商品（メガネ）を購入される方が明らかに増えた。（収入の無い方が増えた。）
		観光名所等	ガソリンがまた値上げだそうです。私はいつも今まで通りのスタンドで、支払は口座引落し。回りではセルフのスタンドで自分で詰めている人が多いのに驚きました。（結構、年をとった人たちもです。）
		商店街	10月に「（仮称）まちづくり八戸」が設立されます。共通駐車券事業を柱として運営していき、三日町に地域観光交流施設が出来ます。
	下北	タクシー	理由はともあれ大間原発の着工の遅れは下北地域の経済に影響は大きいと思います。早期着工を期待します。
		レストラン	働き口もなく、毎日の生活にそして医療費も払えず、病院に行く事も出来ず、いやな世の中になってきたものです。日本のトップも変わったことだし、少しは期待しています。
		都市型ホテル	石油高の影響が食品にまでも及び、またまた景気が悪くならないとよいのですが。
		ガソリンスタンド	これからの灯油シーズンに向けて、原油の高騰による値上げが家計を圧迫するのが気がかりである。
		一般飲食店	おかげさまで50周年を迎え頑張り通していますが、もう疲れてきました。跡取り達は人並みの考えです。これでどうなるかとても心配です。やれるだけやります。
	企業	東青	経営コンサルタント
広告・デザイン			直近の動きというより、ここ数年の動きであるが、連続的不景気・インターネットの発達により一つの仕事に対しスピード化、低コスト化が進み、要求するレベル・質も高くなってきている。受発注も青森県内にとどまらず、地域という概念が希薄になってきている傾向がある。

分野	地区	業種	自由意見
企業	東青	食料品製造	近所の宅地造成が盛んです。新青森駅に近いからなのか？
		津軽	電気機械製造
		経営コンサルタント	来年8月の精密機械メーカーの工場の増設がどのように良い影響があるか注視したい。
		食料品製造	郵便局の民営化によってこれから先更に中央と地方の格差が生じるのでは？
		広告・デザイン	先日出張で九州（久留米、博多）へ行ってきたが、現地の方々は「景気が悪くて」と言っているが、我々が住む青森県ほどではない様に感じた。
		建設	5000万円の年金記録問題、まだ身近に聞こえてこないが、もし自分の年金が「漏れていたら」と考えると不安でいっぱい。早く全員に記録を配布してほしい、と思っているのは私だけだろうか。
	県南	電気機械製造	大手自動車メーカーの組立工場が東北に出来るとの話。宮城県北では？との見方もありますが、青森県にも協力工場等が誘致できるよう、動きをもつことが必要と思います。車の仕事はコストが厳しいが、安定しているので経済効果がすごく大きい。
		建設	新幹線工事も発注が完了し、完成すると同時に工事関連業者への影響が懸念される。何だかんだ言っても、低収益ながらお金が回っていたものがなくなる事は大きい。
		食料品製造	回りの特徴として、県内でも企業間の体力格差が顕著になってきている（例：水産加工・製造）。
		下北	食料品製造
雇用	東青	新聞社求人広告	自動車関連企業の誘致など、政治の面からも長期的な取り組みが必要と思われる。
		人材派遣	参院選後、若干下火となったが、水面下では依然綱引き状態の消費税率引上げ等、当社の死活にかかわる問題が山積している。